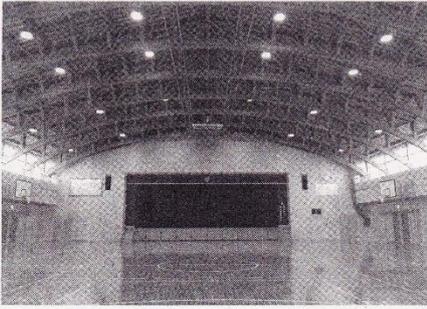


小屋組みの体育館完成

柔剣道場と 技術室棟も 国産木材ふんだん

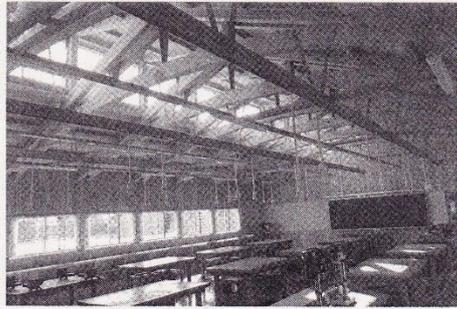
豊橋前芝中



豊橋市前芝中学校で新しい体育館や柔剣道場、技術室棟が完成した。いずれも木材が使用され、アーチ状の小屋組みが特徴。同市初の木構造を採用した学校体育館となる。15日には記念式典が体育館で開かれ、生徒や住民らが祝った。

3棟は昨年3月から、約6億円を投じて建設が進められた。体育館は鉄筋コンクリート造り(一部木材・鉄骨造り)延べ1196平方メートル、柔剣道場も同じ造りで延べ404平方メートル。木は東三河産など国産材を使った。木のぬくもりを感じられる体育館内豊橋市前芝中学校で、市提供

小屋組みは屋根を支える屋根裏の骨組みで、天井がアーチ状の木組みを見ることが出来る。殺風景になりがちな天井の景観だが、木のぬくもり、温かみを感じられるようにした。技術室棟は木造の延べ200平方メートル、構造材、内装材とも東三河産をふんだんに使用。壁面上部には、天窓のような窓が設けられ、



自然光が降り注ぎ、明るく開放的な雰囲気。自然光が降り注ぐ技術室棟内と同じ。

15日の記念式典では、卒業生の名古屋音楽大学教授でオペラ歌手の松下雅人さんが古里の思い出や進路選択などについて話すほか、大学生や生徒らと歌も披露した。式典後には、記念行事として俳優で脚本家の伊沢勉さんが「演劇と私・命の尊さを想う、豊川海軍工廠の空」を演題に講演する。

松下さんと生徒合唱 新たな息吹吹き込む

豊橋前芝中で体育館などの完工式

豊橋市前芝中学校で15日、体育館などの完工記念式典が開

かれ、卒業生のオペラ歌手・松下雅人さんと生徒らが新しい小屋組みの館内に歌声を響かせた。会場となった体育館は木材が使用され、天井のアーチ状の木組みが温かみを感じさせる。前芝で生まれ育った松下さんは式典で講演。音楽は空気を振動させて耳に届く音楽ホールのように響きのいい体育館の空間。この体育館に息吹を吹き込んでほしいと呼び掛けた。教授を務める名古屋音楽大学の学生らと歌を披露したほか、全校生徒や前芝小学校6年生の約1



豊橋市前芝中学校で吹奏楽部や児童による松下さんと豊橋市前芝中学校の合唱。

70人と指導した合唱曲「地球星歌やふるさと」校歌を歌い、体育館などの誕生を祝う美しいハーモニーが生まれた。式典の終わりに谷中緑校長は「合唱では古里を愛する気持ちが届いたのではないだろうか。体育館がコミュニケーション、スポーツの場として地域の皆さんにも愛されることを願います」と述べた。体育館のほか、柔剣道場、技術室棟も完成し、柔剣道場は「躍進館」と名付けられた。(中村晋也)